

令和4年1月9日

南の風 2021 ウインターカップ特集号Ⅳ

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

この後、両チーム攻めあぐねる場面が続く。

桜花は、左ウイングから平下選手がペイントドライブを仕掛け、ディフェンスが寄ってきたところを逆サイドから飛び込んだ朝比奈選手へ、絶妙のサイドフックパスを通した。素晴らしい合わせであった。

京都精華は堀内選手が、トップからスペースを見ながらのチェンジオブペースドリブルで、ペイントを突きショットを決める。

この後、両チームシュートが決まらず我慢の時間が続く。残り2分半で、京都精華の堀内選手がリバウンドから走りドリブルショットを決める。堀内選手はパス、ドリブルワーク共に素晴らしく1年生とは思えないガードぶりである。44対44同点となる。

桜花はリバウンドにもからみ、オフェンスの組み立ても悪くないがシュートの精度が落ちている。そんな中、ローポストで体を張ってポジションを取った朝比奈選手がジェシカ選手の高さを苦にせず、技ありのフックシュートを沈める。第3Q終了（桜花46対44 京都精華）

《いよいよ勝負の第4Q》

ポゼッションは京都精華。八木選手のペイントでのシュートが落ちるのをフォローした、5番植村選手がバックシュートを決める。桜花は立ち上がりシュートが落ちるが、インサイドのディフェンスをがんばる。ジェシカ選手をダブルチームで苦しめ、ボールを奪いファウルを誘った。ジェシカ選手のファウルが4つになり、ウチエ選手と交代する。

ここで朝比奈選手がペイントドライブから、ストップターンショットを冷静に決める。相手の高さへのアジャストがしっかりできているショットであった。京都精華も負けじと、ウチエ選手がローポストでターンショットを沈める。

直後、朝比奈選手がハーフオフェンスエントリーのため、ハイピックを続けて2回かけ、素早くペイントでポストを作り、ベビーフックショットを見事に決める。一時も休まないハードワークであった。

京都精華は、ウチエ選手のインサイドからアウトサイドの瀬川選手へのキックパスで攻めるが、対応の早い桜花のディフェンスに阻まれ攻めあぐむ。その隙に桜花は相手のショットミスのリバウンドから走り、速攻につなげ空いた伊波選手が3Pシュートを落ち着いて決める。（桜花53対48 京都精華）

打開したい京都精華であるが、シュートが決まらない。さらに桜花はリバウンドから走り、朝比奈選手がハイポストからのジャンプショットをしっかりと決めリードを広げる。ここで京都精華がタイムアウト。

タイムアウト明け京都精華は、ウチエがローポストをしっかりと作りシュートを決める。さらにディフェンスをがんばり桜花のオフェンスをしのぎ、堀内選手が右ウイングからのロールターンドリブルでペイントに侵入しジャンプショット。横山選手のファウルを誘いフリースローを2本沈める。

桜花はボール運びからフロントコートエントリーを落ち着いておこない、前田選手が空いたハイポストへティーアップしてジャンプショットを決める。

京都精華はウチエのポストプレー、八木選手のドライブと攻めるが、桜花のインテンシティの高いディフェンスに中々シュートが決まらない。（桜花57対52 京都精華） 次号にします。